



同窓会と「絆」

教育委員会委員長職務代理者 鈴木 敏夫

私が卒業した品川区立A
中学校の同窓会について、
お話をします。

私が卒業した品川区立A
中学校の同窓会について、
お話をします。

学校創立40周年の際に「会
員相互の親睦を図り、地域
社会を教育のよりよい環境
にし、併せてA中学校の発
展に寄与すること」を目的
とし、同窓会を再建しまし
た。学校・保護者の支援を
受け、学校の体育館で第1
回総会を開催しました。卒
業以来何十年ぶりに再会す
る懐かしい顔を含めて、4
00人を超える同窓生が集
まり、大いに盛り上がりま
した。その余勢を駆つてか、
学校支援のバザーを催した
り、卒業生全員を掲載した

再建当初の10年間ほぼ
毎年総会を開催し、総会準
備のための幹事会や学校行
事への参加、親睦イベント
等少なくとも年10回以上の
集まりがありました。そし
て学校創立50周年を記念し、
総会通知のやりとりの中で
判明した正確な住所を掲載
した2冊目の会員名簿を作
成しました。

に総会案内状を発送すると
経済的・労力的な負担とな
り、①同窓会を継続するか
否か、②総会を毎年開催す
るか、③住所判明者全員に
総会の通知をするか、とい
った論議がありました。①
については、公立中学校の
同窓会で継続して総会を開
催しているのは貴重である
と励まされ継続することに、
②については隔年開催とす
ることに、③については、
経済的能力がある間は判明
者全員に通知することとし
ました。

り、最後の総会となった60
周年記念総会を、学校・保
護者・地域の人の協力を得
て「A中学校に感謝と別れ
を告げる会」として開催し
ました。A中学校との別れ
を惜しむと同時にその絆の
大切さを考える、またとな
い機会となりました。

「感謝と別れを告げる会」
を境に同窓生の繋がりが途
絶えたかという点、そつで
はありません。これまで多
くの卒業生を輩出してきた
2つの中学校と、これから
多くの卒業生を送り出して
いく新しい中学校との合同
同窓会が創立され、同窓会
という絆は続いています。

教育改革プラン21 『新たなステージへ』



品川区では、平成11年度に『教育改革プラン21』をスタートし、第Ⅰステージとして「学校選択制度」、第Ⅱステージとして「外部評価制度」「学力定着度調査」など様々な教育施策を展開してまいりました。平成18年度には、第Ⅲステージとして、区独自の「品川区小中一貫教育要領」を作成し、区内すべての公立小・中学校で「小中一貫教育」を開始いたしました。



「学校選択制」って？

- 小・中学校の入学予定者を対象とし、小学校は品川区を4つのブロックに分け、ブロック内の小学校を、中学校は区内の全中学校から選択することができる制度です。
- 区民から信頼される学校になるために、各校が教育活動を充実させ、レベルアップが図られたこと、また、これまで以上に情報発信に努め、地域との連携を深めたことなど多くの成果をあげています。

「外部評価制度」って？

- 学校間の比較やランク付けをすることではなく、各学校が評価結果を学校改善に向けて積極的に活用することが目的です。
- 具体性・客観性のある学校評価を行う仕組みで、校区外部評価（学識経験者・保護者・地域関係者・近隣小中学校管理職による）と専門外部評価（4名の専門家による）を実施しています。
- 評価結果をどのように受け止め、どのような改善策を打ち出していくのかを、学校だよりやホームページなどで保護者・地域への説明責任を果たしています。

「学力定着度調査」って？

- 9年間を「4-3-2」のまとまりでとらえる小中一貫教育の節目である4年生と7年生を対象として、国語・算数／数学・理科・社会の4教科で学力の様子を調査します。
- 調査実施後、具体的な数値結果や分析とともに、課題やその解決のための方策およびその検証方法などを学校の『態度表明』として公表しています。
- 結果をもとに小・中学校が連携し、組織として改善に向け見直す体制が構築されています。

「小中一貫教育」って？

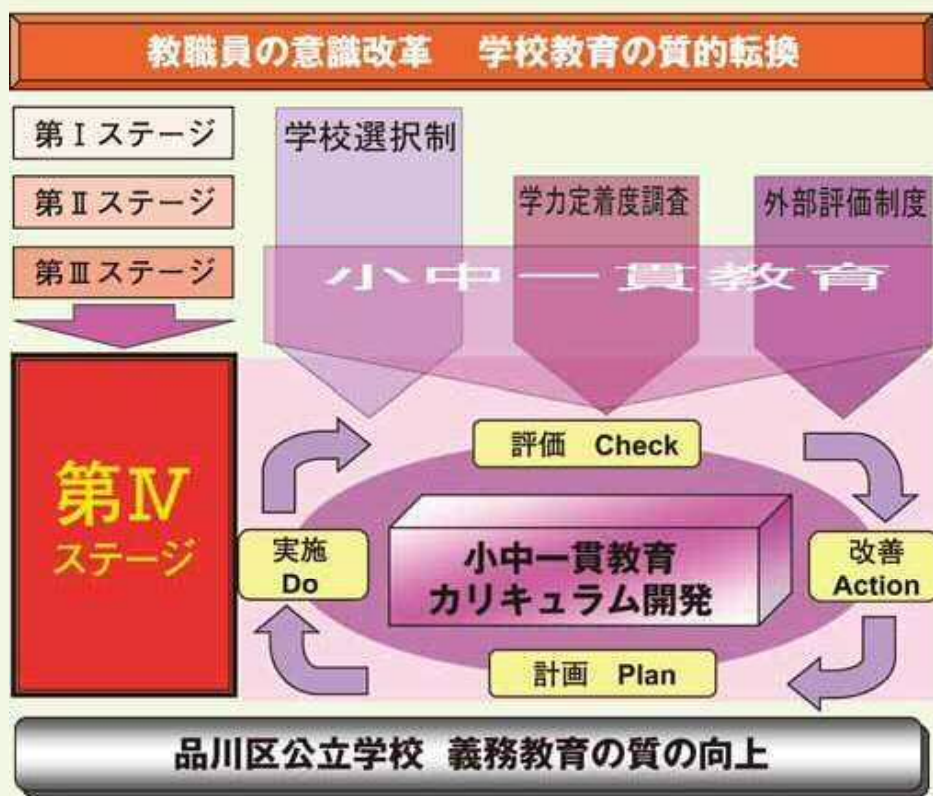
- 小・中学校が従来からもつ欠点や課題を克服し、互いのよさを生かすための一つの仕組みとして、9年間を通して系統的な教育活動を行う制度です。
- 施設一体型一貫校のほか、近隣小・中学校で連携グループを構成し、様々な取り組みを行っています。
- 国の学習指導要領よりも内容を充実させた「品川区小中一貫教育要領」に基づいて、区独自の教育を行っています。
- 豊かな社会性や人間性を育むために、「道徳」、「特別活動」、「総合的な学習の時間」を統合した新しい学習として「市民科」を創設しています。独自の教科書による指導を行っています。
- 1年生から「英語科」を実施し、実践的・実用的コミュニケーション能力の育成を目指しています。
- 各学校の重点や児童・生徒の実態に応じて指導内容を工夫する「ステップアップ学習」の時間を時間割に位置付け、特色ある教育活動を展開しています。
- 基礎基本を徹底したり、発展的な内容に取り組んだりするために、国語・算数／数学・理科・社会は区独自の教材を用意しています。

平成22年度には、これまでの具体的な実践から得られた教訓を基に、本区の教育の基準となる「品川区小中一貫教育要領」を更に改善いたしました。昨年度から小学校、今年度から中学校で全面实施し、これが第Ⅳステージのスタートとなりました。

ここでは、将来我が国の各分野で必要となる人材を育成していくという視点から、各学校は自校の教育目標を設定して、小中一貫教育ならではの特色ある学校づくりを推進します。

そのため地域の小・中学校が協力し、施設や地域の実情に応じた「小中一貫教育カリキュラム開発」に取り組み、その実現に向けて、「計画(Plan)」「実施(Do)」「評価(Check)」「改善(Action)」を行ういわゆるマネジメントサイクルに基づいた教育活動を実施していきます。

品川区教育改革『プラン21』



「カリキュラム」って？

「子どもに与えられる学習経験の総体」のことであり、学校のカリキュラムといった時は、「どうすれば子どもに力を付けられるか」を考える指導の設計図のようなものです。子どもに付けたい力を学校全体として育てていくために不可欠なものであり、各学校で編成するものです。

品川の教育改革を更に力強いものとするため、子どもたちの状況や地域の実態に応じ、各学校が特色ある小中一貫教育活動を行い、義務教育の一層の充実・発展を目指してまいります。

第1・3土曜日を 授業日とします

今年度から区立小・中学校
全校において、原則として第
1・3土曜日に授業（午前授
業、給食なし）を行います。
具体的には、下記の17日間が
授業日となります。

第1・3土曜日に授業を行
うことにしたのは、主として
次のような理由からです。

◆国の学習指導要領が変わっ
たことにより、標準授業時
数が1年生で94時間、2年
生で70時間、3・4・7・8・
9年生で35時間増加しました。
土曜日授業を実施することで、
毎日の学校生活にゆとりを
持つて対応できます。

◆土曜日授業を行い授業時数
を増やすことで、繰り返し
学習や学び直しの時間が確
保しやすくなり、より一層、
確かな学力の定着を図るこ
とができます。

平成24年度の土曜授業日

4月21日、	5月19日、	6月2日、
6月16日、	7月7日、	9月1日、
9月15日、	10月6日、	10月20日、
11月17日、	12月1日、	12月15日、
1月19日、	2月2日、	2月16日、
3月2日、	3月16日	

*地域行事等との関係で、上記
とは異なる日程で実施する学
校も数校あります。具体的
には、各学校のホームページ等
でご確認ください。

◆土曜日は保護者や地域の方々
の参加を得やすい曜日です
ので、学校公開やゲストテ
ィーチャーを招いた授業の
実施など、開かれた学校づ
くりを一層推進することも
できます。

◆昨年度までは、学校ごとに
土曜授業日を設定していま
した。「区内で土曜授業日を
固定した方が、地域行事等と
の調整がしやすい」、「小・
中学校で土曜授業日が異な
ると、家庭の予定が立てに
くい」などの声をいただい
ておりましたので、区立学
校全校で同一日程とするこ
とにしました。

ご理解とご協力をよろしく
お願いいたします。

学校の防災機能を 充実させます

平成24年度の重点施策とし
て、品川区は防災対策の強化
を掲げています。災害が発生
した際、学校は避難所となり、
地域の防災拠点として活用さ
れます。そこで、今年度実施
する学校の防災機能の拡充に
ついて紹介します。

非構造部材の 耐震化点検等を実施

品川区の学校は、改築中
のものを除いて全て耐震化が完
了しています。しかし、災害
時の安全性をより高めるため、
天井や窓ガラス、照明といっ
た建物構造体（躯体）以外の
部分（非構造部材）を耐震化
することが必要です。そこで、
全校で非構造部材の耐震化点
検を行い、更なる安全性の確
保を目指します。

また、トイレ排水管の耐震
化も継続して実施します。

小学校にも ミニポンプを配備

品川区では従来から中学校
にミニポンプを配備し、地区
総合防災訓練の放水訓練に中
学生が参加することを通じて、
防災意識の向上や、将来の地
域防災の担い手育成に努めて
まいりました。平成24年度か
らは中学校に加え、小学校に
もミニポンプを配備し、小学
生の防災教育に活用します。



ミニポンプ（D級ポンプ）

この他にも学校の防災倉庫
に救出工具セットを配備する
とともに、飲料水といった備
蓄物資の充実も行います。



平成23年度採用 品川区固有教員 採用1年目を振り返って



八潮学園

根本 俊吾 教諭

品川区固有教員として採用されて1年が経過しました。小中一貫校八潮学園での1年間は、戸惑いや驚き、そして勉強と発見の毎日でした。施設一体型一貫校という環境で、1年生から9年生までの多くの子どもたちにもまれ、その明るさに元気をもらいながら日々励んでいます。そうした中で、小中一貫教育の意義を実感するようになりました。

私の担当する算数・数学では、「算数」から「数学」へ移り変わるうちに、次第に体験的な活動から論理的な思考へと考えを深めていきます。教師間で意見交換を密にすることによって、子どもたちにとって無理なく学習できる基盤を作ることができます。また、日頃から部活動や行事で小学生と中学生が協力し合い活動をしています。「7年生になっても、お世話になった先生にいつでも会える」というのも、施設一体型一貫校の魅力ではないでしょうか。

私はこのような恵まれた環境を生かし、教員としての資質の向上のため精進して参ります。まずは教科から、そして学校生活を通して、子どもたちが成長を実感できる環境づくりに努めます。



荏原第五中学校 (前大崎中学校)

八坂 弘 教諭

私は固有教員としての1年目を、大崎中学校で過ごしました。1年を振り返ると、品川区独自の教育施策を、子どもたちをより良く育てることに役立てるだけでなく、自身の能力向上にも活かすことができたと思います。特に小中一貫教育は、教員としての視野を広げ、使命感を高めることにつながりました。

三木小学校で行われたふれあい交流会では、幼稚園から高校までの子どもたちが一堂に会し、合奏や合唱を通して交流しました。大崎中学校の生徒たちが、小学生や教員の前で合唱をしたときの誇らしげな表情がとても印象的でした。このような交流も含め、子どもたちを見守り、その力を育むことができるのが小中一貫教育の魅力であると思います。

私自身、連携先の小学校の教員との関わりを通して、多くのことを学びました。私は理科を教えています。小学校との連続性を意識した指導の在り方を学び、生徒が小学生だった時の様子を聞き、授業や生活指導に活かすことができました。今年度、荏原五中に転任しましたが、魅力ある品川区の教育施策を十分に活かせる力を身に付け、これからも子どもたちのために働かせて頂きます。



戸越台中学校

伊藤 悠人 教諭

戸越台中学校に品川区固有教員として勤務し始めて、早くも1年を迎えました。担当科目は理科で、剣道部の顧問をし、昨年度は7年生の副担任を経験しました。教員生活1年目は大変忙しく、毎日学ぶことが多い充実した日々でした。

私は子どもたちに、実際に体験して学ぶ「実学」の理科を伝えたいと思い、授業で実験を多く行ったり、映像教材を積極的に活用したりすることに取り組んできました。子どもたちは非常に生き生きと授業に参加しています。授業で子どもたちが「わかった!」と声をあげて喜んだり、実験結果に驚いたりしている姿を見ると、本当に子どもたちが愛おしい存在であると思うと同時に、念願だった教員になれた喜びを感じることができました。

品川区は小中一貫教育を実施しており、小学校での出張授業もさせていただきました。小学生は表現がとても素直で、目の前で起る化学変化に目を丸くしていました。

教員生活2年目となる今年度はさらに授業の技術や専門性を磨くとともに、部活指導にも力を入れ、常に向上を目指す姿勢を貫いて職務に励んで参ります。

図書館からのお知らせ

オウチで読書のススメ!

●ご家庭で読書タイムを!

毎月23日は「しながわ親子読書の日」です。絵本の読み聞かせ、好きな本を読む時間など、ご家庭でも読書タイムというのはいかがですか?



●幸せな時間

10分くらいの短時間でも、寝る前に絵本を読んでもらったり、おはなしを語ってもらったりすることは、お子さんにとってはとても幸せな時間です。字が読めるようになってからも読み聞かせをしてあげてください。高学年のお子さんにも是非!

●親子でコミコミ!

親子で同じ本を読んで感想を言い合ったり、別々の本を読んでも紹介しあったりすることで親子のコミュニケーションが深まるだけでなく、本に親しみ、本に出会つきっかけにもなります。

お子さんから面白い本を紹介してもらうこともあります。子どもたちに人気のある本は大人が読んでもおもしろい本が多いですね!

高学年のお子さんには、さりげなく読んだ本を置いておくのも一案です。

この本おもしろい!



「おきゃく、おことわり?」
ポニー・ベッカー/文
ケイティ・マクドナルド・デントン/絵
横山和江/訳 岩崎書店

クマはお客が好きではありません。ところがある日小さなネ

ズミが訪ねてきました。



「すずちゃんと魔女のパパ」
柏葉幸子/作
高島純/絵 講談社

魔女としやべるネコと出会ったすずちゃん。自分のぬいぐるみを取り返すためにゆうれい釣り勝負をかけます。



「ジジのエジプト旅行」
ラッセル・オスファテル/作
タニエル遠藤みのり/訳
風川奈子/絵 文研出版

みんなの前で、夏休みにエジプトへ行くとウソをついたジジ。先生からは、旅行の発表をするようにと言われてしまいます。



「ジェイとレイ ふたりはひとり?」
アンドリュー・クレメンツ/著
田中奈津子/訳 講談社

いつもどちらかに間違えられることに、うんざりしている双子の6年生ジェイとレイ。転校先の学校で、入れ替わり作戦を企てます。

<中学生向き>



「クロティの秘密の日記」
パトリシア・C・マキサク/作
宮木陽子/訳
門内幸恵/画 くもん出版

奴隷が読み書きを習うことが法律で禁じられていた時代。奴隷の少女クロティは、仕事をしながら字を覚え、秘密の日記をつけ始めました。

区立図書館では学年別おすすめ本リストを毎年発行し、夏休みおすすめ本なども紹介しています。学校図書館からも各種おすすめ本を紹介しています。

二葉図書館が開館

耐震補強工事が完了したため、3月1日から開館しています。全面的なレイアウト変更等により、明るい図書館に生まれ変わりました。是非ご利用ください。

所在地 二葉1-4-25
最寄駅 東急下神明駅
電話 3782-2036

※紹介している本の表紙絵使用は、各出版社の許諾を得ています。

品川区児童・生徒教育長表彰

平成23年度児童・生徒教育長表彰式が、2月10日（金）区役所講堂で行われました。今年度は「スポーツ部門」7名、2団体、「文化部門」2名、「善行部門」2名、2団体の方が受賞され、表彰楯と記念メダルが授与されました。受賞者の皆さんを紹介します。

【スポーツ部門】

- ① 第二日野小5年 森川 海舟
全国少年少女レスリング選手権大会5年生の部優勝
- ② 浜川小3年 田南部 魁皇
全国少年少女レスリング選手権大会3年生の部優勝
- ③ 浜川小6年 田南部 夢叶
ジュニアクイーンズカップレスリング選手権大会女子5・6年生の部優勝
- ④ 第二延山小6年 宮内 美里
全国少年少女レスリング選手権大会5・6年生の部優勝
- ⑤ 立会アタッカーズV・B・C
浅間台小6年 橋本 菜々
伊藤学園6年 三浦 朱々花
浜川小6年 山崎 れな
立会小6年 熊谷 有優奈
立会小6年 二村 星奈
城南小5年 石村 有梨沙
八潮学園5年 吉田 千夏
ファミリーマートカップ第31回全日本バレーボール小学生大会全国大会ベスト16
- ⑥ 荏原第一中9年 井関 慶人
全日本中学校陸上競技選手権大会 男子走幅跳入賞

権大会5・6年生の部第3位

- ⑦ 豊葉の杜中9年 曾我 聖斗
品川区中学校連合体育大会 走高跳 優勝

- ⑧ 戸越台中8年 島雄 智佳子
全国中学校水泳競技大会 飛び板飛込 高飛込 出場

全国中学校水泳競技大会

- ⑨ 大崎中女子バレーボール部
全日本中学校バレーボール選手権大会ベスト16

全日本中学校バレーボール選手権大会ベスト16

【文化部門】

- ① 第三日野小4年 佐伯 研志郎
「世界児童画展」において「文部科学大臣奨励賞」受賞

- ② 浜川小2年 安田 名那
「全国学生書写書道展」において「記念特別大賞」受賞



【善行部門】

- ① 第二延山小 二延音楽隊
地域行事に積極的に参加し、地域の交通安全意識が高まることに貢献

- ② 富士見台中9年 矢部 嵐麻
「中学生の税についての作文」コンクールにおいて、国税庁長官賞を受賞し、区民の納税意識が高まることに貢献

- ③ 大崎中9年 池田 勇氣
大崎第二地区地域防災訓練で、3年間連続でミニポンプ操作の技を披露し、区民の防災意識が高まることに貢献

- ④ 荏原第六中 ハートウォーミング六中
毎週継続して西小山駅前の清掃活動や老人ホームでのふれあい活動などボランティア活動を積極的に行った

「まもるっち」が 新しくなりました

品川区独自の取り組みである「近隣セキュリティシステム」が導入され、6年あまりが経ちました。皆様の日々のご協力、ありがとうございます。

平成24年4月より、通信事業者がKDDI(株)に変更になり、専用端末「まもるっち」が新しくなりました。



主な変更点

【まもるっち(旧)】

市販の製品を「近隣セキュリティシステム」用に改良したものを使用します。機能は、従来通り児童の見守りに必要なものに限定しています。

【機能(旧)】

従来の緊急発報に加え、次の機能が標準で使用できます。

- 緊急地震速報 ● 学校向け電源オフモード ● 防犯ライト ● アラーム機能

【その他】

別途有料オプションに申し込むことで、● 特定通話・限定メール ● 警備会社による夜間・休日の見守り等のサービスが利用できます。

近隣セキュリティシステムの流れ



品川区長杯争奪

少年少女サッカー大会

1月21日～2月19日、第36回品川区長杯争奪少年サッカー大会・第25回少女サッカー大会が行われました。

少年29チーム・少女4チームが参加し、八潮多目的広場などで、熱戦を繰り広げました。

《少年》

- 優勝 FC戸越
 - 準優勝 後地FCドルフィンズ
 - 第二位 二延FC
 - 第四位 FCフェニックス
- 《少女》
- 優勝 城二ユナイテッド

品川区長杯争奪小学生卒業記念

バレーボール大会

3月20日、第23回品川区長杯争奪小学生卒業記念バレーボール大会が総合体育館で開催されました。13チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

- 優勝 立会アタッカーズV・B・C
- 準優勝 延山ペガサスVBC
- 第三位 大井第一エンジェルズ、三木ジュニアVBC



立会アタッカーズV・B・C



城二ユナイテッド



FC戸越